



# 仏法領

ぶつぽうりょう

第80号

発行：真宗大谷派

念信寺

〒 824-0202

福岡県京都郡みやこ町犀川上高屋761

☎ 0930-42-0329

Fax 0930-42-0502

ホームページ

nenshinji.org



あなたは、そこにいるだけでいいのです。  
誰かの支えになっているから。  
あなたは、そこにいるだけでいいのです。  
わたしの力になつていてるから。  
あなたの存在は、わたしの生きざまだから。

一人は誰かのために、役立つている。

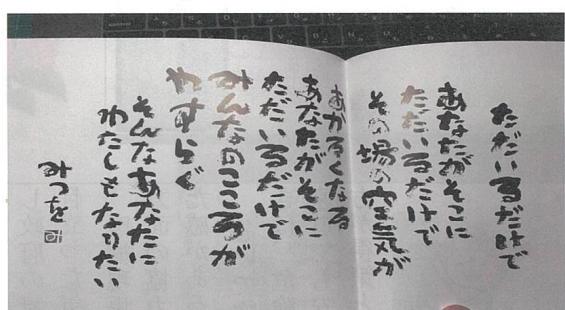
(写真・文 大迫光浩)

無量寿經如來に歸命し  
不可思議光に南無してまつる  
はからいを超えた智慧のよびかけに依つて生きます  
『正信念仏偈』

あなたがそこには  
たたひうだいだけで  
その場の空気が  
あなたがそこには  
あたたくなる  
ただいるだけで  
みんなのところが  
やすらぐ  
そんなあなたに  
わたしもなりたい

みつを

(引用「にんげんだもの」  
相田みつを 1984年  
第一版)





## 新総代です！

今回は今年から総代をお引き受け下さった大塚さんをご紹介します。



O H さん(上高屋)



Oさんは昭和21年1月生まれで現在74歳。お仕事はもともと建設業、早く言えば大工の棟梁さんでした。現在は農業、本人弁、「百姓」だそうです。今も頼まれたら大工仕事をしています。

趣味は国内旅行、奥さんのSさんは二人で出かけるそうで、近頃では、北海道旅行をなさつたとか。Sさんは、犀川本庄の森実商店にお勤めでしたから、ご存知の方も多いと思います。お二人ともに、お孫さん達の成長に心を配つておられます。

実直な方で自分から積極的に発言はなさいませんが、物事を真面目に考えておられます。

反抗があり、警察分署、派出所が襲撃され。台中の山岳地区で山地人の統治下にあった台湾

## 仏様に感謝

柏木 主税  
かしわぎ ちから

今年六月七日は東本願寺にて得度式を受け僧侶になつてから、満十五年になります。月忌参り、法座での聴聞、葬式の手伝いなど念信寺の法務に携わらせて頂いています。

念佛を称えることによつて極楽浄土に往生できる教えを聴いたのは、真宗の門徒に生まれながらも僧侶になつて初めての聴聞でした。仏教用語などはお経や法話で少しは理解出来るようになり、僧侶になる前と今では日常生活は大きく変わりましたが、私自身の考え方・人間性の面で果たして変化があつたかどうか疑問です。

我が家では、子供の頃から仏に関する話題は皆無に等しかつた。父は明治生まれで、幼少時に両親をスペイン風邪の猛威で亡くし、知り合いの所を転々としながらの生活で学校は殆ど行つていなかつたようでした。就職するには試験があり、独学で勉強したようでした。その後、久留米警察署に就職し風紀関係(思想取締)の仕事に就いていたようです。

「急がば回れ」の語源を調べてみると、宗長(室町時代の連歌師)の歌で

### 紺ちゃんの独り言 急がば回れ



早くコロナ感染症が終息する事を願うばかりです。  
おがたひろみ  
尾形紺光  
(添田町)

その後帰国し母と結婚。柏木に養子として入籍し、長男誕生、間もなくして第二次世界大戦が勃発、出兵した。三ヶ月後に負傷、九死に一生を得て帰国し私と三人の妹が生まれた。七十九歳で亡くなるまで負傷が原因の入退院を繰り返していました。母は本当によく看病しました。

戦争で負傷し自由な人生を送ることが出来なかつた父、父の看病疲れで父より先に亡くなつた母。両親とも一度も愚痴など悔やみ事を話すことはありませんでした。が、心中では仏様に今生かされて頂いていることに感謝していたのではないかと思ひます。



中国から発生したといわれている新型コロナ感染症がいまでは世界を席巻している。日本では終息に向かいつつあるが、この間のテレビの朝のニュース番組や昼のワイドショウなど連日殆どの放送局が感染症に対する問題を取り上げていた。その中で特にコメントに無責任な発言が多くあり、又いたずらに外国との違いを誇張し政府の対応が遅いと批判をする事が目立つた気がする。

医療現場従事者の大変な努力や、各方面的協力によりなんとか持ちこたえた感があるが!

急いで物事を成し遂げようとするときは、危険を含む近道を行くより若干遠道でも安全確実な方法を取ることが得策と思う。

当時、京に向かうには、矢橋から琵琶湖を横断する水路の方が近くて早いのですが比叡山からの突風により

れ、警察官とその家族百数十名が犠牲になりました(霧社事件)。軍と警察の部隊によりつ鎮圧された後、台湾の霧社反対地区へ父は警備のため派遣された。

本三大名橋の瀬田の唐橋のこと。

## 【最近の日常生活の状況】



このところ新型コロナウイルスによる感染症問題で日本だけでなく、世界中で大騒動になっていることは皆さんご承知のことでしょう。我々の住む福岡県は、関東圏近畿圏に伍して新型コロナウイルス感染症拡大期から緊急事態宣言区域に入れられておずかしく思うべきかわけの分からぬ状態が続きました。

だけど、本当は疾病に関することだから誇つたり、恥ずかしく思つたりする性質のものではありませんね。疾病が大流行しないことが一番肝心なところでしょう。

この新型コロナウイルス感染症と筆者との関係はどうでしょうか。テレビニュースで、今回の感染症は基礎的疾患のある人は特に感染しないよう注意が必要ですと絶えず言われておりました。

基礎的疾患とはどんなものなのか。まずは、血圧の高い人、糖尿病を患っている人、慢性の心不全の人、狭心症とかの心臓に疾患がある人等々。

エツ！私は全部に該当しているではないか。ならばどうすればよいか。結論は、新型コロナウイルスとやらに感染しないことだろう。

役人、知事達は「とにかく不要不急の外出は自粛してください」と繰り返し叫んでいた。普通はあまり賛成しないのだが、今回はあるべく忠実に役人知事さん達に従おうと決めました。日々の食料の買い出し以外は外出しないことにしました。

三月初めから現在まで四月下旬の心不全での入院生活を、含めて、この自肅生活を続けております。  
ところが、この自肅生活も副作用があるんですね。寝転がつてることが圧倒的に多いものだから、あまり多くない筋肉がさらに減じて、歩行にいささか困難をきたしているのが現状です。この寺報をお読みになる皆さま方も新型コロナウイルスに負けないように頑張ってください。

ところが、この自肅生活も副作用があるんですね。寝転がつてることが圧倒的に多いものだから、あまり多くない筋肉がさらに減じて、歩行にいささか困難をきたしているのが現状です。この寺報をお読みになる皆さま方も新型コロナウイルスに負けないように頑張ってください。

阿部正紀・記

## 春彼岸法要のレポート

日時 令和2年3月29日(日)

午後1時半より

講師 住職 村上匡一

法話の要旨

あなたは困っていることはありませんか。

応急処置でなく根本から治すこ

とができます。人生の根本問題

に触れているお念仏に出遇うこ

とだと教えられています。

人は西に向かって歩む存在。この世で出遇

う出来事はすべて生まれて死ぬことの意味を

問っています。しかし私は、真如、仏様から

の呼びかけを聞かず、自分に都合の良いよう

に生きようとして迷いを深め

ています。正信偈の「帰命無

量寿如來、南無不可思議光」

はナムアミダブツのお念仏が

いつも逃げ回る私を呼び続け

ていることを教えているらし

いのです。

住職の感想

予想よりも多くの方がお参

りにきて下さいました。40人近くもおられた

であります。志の篤さに感動致しました。

## 無題

コロナウイルスで大変です。政治家、官僚、自治体の長、国、地方の公務員、苦労された医療現場の皆さん、お疲れ様です。どんなに上手く言い繕つても実像は正直に国民のみなさんへ伝わっています。

大きな流れの転換期かも

もと感じます。

川柳です  
頑張れない人もいること忘れまい。  
「私もよ」その一言に救われる。  
治るのも患者しだいという名医。

帰り道スマホと私電池切れ

ひどい妻寝ている俺にファブリーズ

今は逆、女房達者で留守がいい

妻の声昔ときめき今動悸

有害だ「混ぜるな危険！」嫁姑

「前向きで」駐車場にも駐まされ

貧乏も家系と思つて諦める

幸せはなるものでなく気づくこと

喜べば喜ばれると気がついて

『(中根) 東里遺稿解』桑川信也編より

「僕より奢に移るは易く奢より僕に入るは難し」



「施しては報を願わず、受けでは恩を忘れず」

「亡くなつた肉親はあなたの方とともに生きていてくれています。亡くなつてもそれで終わりではありません。縁(エニシ)で結ばれた人の心の中で人は長く生き続けるのです」

私がさみしいときに、お母さんはやさしいの

私がさみしいときに、よその人はしらないの私がさみしいときに、お友だちは笑うの

## 最近感じたこと

村上 宣

いつものおいさん

合掌



私は御陰様で、無事に大谷大学を卒業しました。4月から大谷専修学院で学ばせていました。だいています。と言いましても、大流行をしているコロナウイルスの影響で、九月まではお過ごしでしょうか。

インターネットを通じて通信教育を受けています。4月から大谷専修学院で学ばせていました。だいています。と言いましても、大流行をして

いる状況です。そういった事情で、今は月忌のお参りの手伝いをしています。今回、原稿を頼まれ、最近感じたことを題材にすることになりました。最初に思い浮かんだのは、月忌のお参りでの事でした。久しぶりのお参りで、小学生の頃からお世話をしていた方が、記憶にある姿よりもずいぶん歳老いておられて驚いたことです。そんなことと思われるかもしれません、大学での4年間はあつという間に過ぎてしまったもので、時間の経過をあまり意識していませんでした。しかし、人の姿を見てそこに確かな年月が経つていて、私自身含めて老いていくことを失念していました。生きて時間が経つて生きさせられ、同時に「生きて時間が経つて生きたのだなあ」と漠然と感じました。



最近、頭の片隅にあり感じたこととして書かせていただきました。

## 皆作法要中止のご案内

皆作永代經法要（6月29日～7月1日予定）をコロナウイルス防御の為、中止させていただきます。

19日に総代会を開き、今般の社会状況に鑑みて中止はやむを得ないと結論に達しました。多くの人が、コロナの流行により生命の危険を感じて、何の為に生きているのかという問いをいたいでおります。この様な時だからこそ、仏法に聞く時であります。

しかしながら、法座を開催するとなると、社会的な責任もあり残念ではありますが、今回は中止せざるを得ないと結論に達しました。お寺は仏法を聴聞する場を開くのがご門徒に対する第一の責務であるのに誠に申し訳ありません。今回は中止の措置を取らせていただきたい。

各位

### お寺の催し・活動

今回、京都組や教区の催しも中止が多く、会議もリモートで行っています。

毎年恒例、各6小組で7月に行う婦人研修も中止させていただきました。以下はその経緯の一部です。開催するかしないかは、各小組の役員さんたちで話し合つてもらつた結果のやり取りです。（公表する旨承認はいたしております。）

【婦人会員】おはようございます。各小組に確認したところ、夏の研修は今年度は見送つていただきたい。

【組長】わかりました。ありがとうございます。

組の執行部で決めてしまつのでなく、自らが選ぶといふことが次の歩みにつながります。

自分はどう生きようとしているか。仏法は自分にどう関わるのか。僧侶だけではなくていません。

答えを他人に聞こうと思ってもはつきりしないでしょう。

コロナは、例年の慣例になつて夏季講習の自分がつての意味が問われている、いいチャンスでしょ



うね。

【婦人会員】70歳の女性がおつしやいました。どんなにがんばってもあと50年は生きられない。自分では残り10年足らずだと思って毎日大切に大事に生きたいって。

実際の所先行きを考えるとものすごく不安です。明日の事は悪い煩うなとは言いますが、怖いものは恐いです。

【組長】そうでしょう。それでいいんです。

お坊さんから、やりましょうと言われたら、怖い感情を持ちながら、それを抑えて実施する答えに無理にでも自分を合わせようとするでしょう。お坊さんに反発する感情に流されてしまふかもしれません。

心してしまつて自分と仏法の関わりも問われません。

あるいはちょっとはあつた聞きたかったという戸惑いや残ったかも知れません。

【婦人会員】それなんですね。嫌々ながら御法話を聞いても何でこんな時にという感情の方が先に立つような気がします。負の感情だけが印象に残つてしまつ。

【組長】怖いものは怖いんですね。その自分と教えとの関係が、一人ひとりの仏法との関わりなんですね。自分たちで決めていたくことが大事だったと考えています。仏様に心を寄せる方は葛藤を感じたと思

うことがあります。

【婦人会員】おはようございます。各小組に確認したところ、夏の研修は見送つていただきたいことでした。

【組長】わかりました。ありがとうございます。

組の執行部で決めてしまつのでなく、自らが選ぶといふことが次の歩みにつながります。

自分はどう生きようとしているか。仏法は自分に

どう関わるのか。僧侶だけではなくていません。

答えを他人に聞こうと思ってもはつきりしないでしょう。

組の執行部で決めてしまつのでなく、自らが選ぶといふことが次の歩みにつながります。

自分はどう生きようとしているか。仏法は自分に

どう関わるのか。僧侶だけではなくていません。

答えを他人に聞こうと思ってもはつきりしないでしょう。

### 一〇一〇年法座予定

九月二十七～二十九日

瓜生 崇 師（滋賀・東近江市）

●正忌・報恩講

十一月二十一～二十四日

未定

### なぜ人はカルトに惹かれるのか

講師にお招きしている瓜生崇先生が本を出版されました！



#### 中外日報書評

著者は浄土真宗親鸞会を脱会後、真宗大谷派住職として精力的な布教を展開する一方、カルトの脱会支援にも尽力していることで知られる。本書は親鸞会時代の経験を振り返りながらカルト対策の要諦を説くが、「正しい宗教」への目覚めではなく、「ちゃんと迷つてやらぐこと」の重要性を強調している。

なぜ人はカルトに惹かれるのか。著者はそれを「正しさへの依存」と言う。多くのカルトは人生の「迷い」を打ち消すために誰もが求める「明解な答え」を与えてくれる。しかし「人間は『正しい』を得てづれなくなつてしまつたときに、最も手に負えなくなる」。

一方、カルト信者ではない側も「正しく社会的な常識に生きる私たち」という形で同様に「正しくなつている存在」になつてはいいかと問う、「教団の真理を抱きしめている信者が、私たちの正しさに戻るのが脱会ではない（中略）様々な価値観を許容し、お互にゆらぎ、迷つても生きていける」という大地に着地する」必要性を説く。

無論、「何が正しいのか」という視点を放棄するのではない。安易な『社会正義』に依存せず、何が正しいのかを泥まみれになつて、真剣に考えなければならない。宗教の本領はそうした「泥まみれ」の営みを支える力にあるのかもしれない。

**真宗大谷派（東本願寺）灯籠**

はせがわ行橋店で、真宗大谷派（お東）用切子灯籠を販売中です。

商品のお渡しは、ご注文から数日後になります。

特撰 和紙切子 中 53,000円(税込) 税込58,300円 大140×高35 494001020294	特撰 和紙切子 小 50,000円(税込) 税込55,000円 大98×高20 494001020300
---	--

お東、大谷派の正式な盆提灯です。  
はせがわ、八女仏壇においてます。  
お寺にパンフレットがあります。

特撰用紙切子  
高級感ある上品仕立ての  
東本願寺用切子です。

はせがわ行橋店  
〒870-0001  
福岡県八女市行橋町  
TEL: 093-921-0202  
FAX: 093-921-0203

あとがき

▼今日は「コロナウイルス」をテーマにして誌面をつくりました。この時期の現状、自分と向き合うテーマも皆さんが共感ができるように書いてもらおう／読んでもらおう。▼人生いろいろな問題はあってもこの事が解決つけばいいんだという、このこと。坊守の事は、いつも抽象的だと非難される。今回、第4頁は瓜生氏の引用をさせていただいたのは、そのXが突きつけられているんだよ。やはり駄目かな。